



かなざわ

民児協だより

2019.1

第54号

発行責任者 金沢区民生委員児童委員協議会 会長 青木 伸一

民生委員・児童委員，主任児童委員にご相談ください。
私たちには守秘義務があります。

高齢や障害などで、日々の生活に援助が必要な時、介護サービス等の相談窓口や支援団体をご案内します。

不登校やひきこもりなど、子どもに関するお悩みがある場合、学校などと連携しながら専門機関につなげます。

子育てサロン、高齢者サロンなどで、お仲間づくりをしませんか。近くのサロンをご案内できます。

生活資金や進学資金など、経済的に困りの時、支援制度をご紹介します。



区民生委員児童委員協議会
会長 青木 伸一

私たち、民生委員・児童委員は、同じ地域住民の立場で、困っている人の相談に応じ、関係機関への「つなぎ役」として、活動を続けています。

特に、今日においては、支援を必要としながら、「声を出さない」「声を出せない」人が多く存在します。私たちが行う訪問活動は、こうした人達に寄り添い、小さな「気づき」から、様々な福祉制度につなぐことが求められており、地域の為に活動出来ることにやりがいを感じています。今後とも、自治会・町内会をはじめ、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ等の関係機関と連携を図り、住みよい地域づくりに貢献したいと考えます。

本誌をご覧ください、民生委員の活動を知っていただければと思います。

🌸 現役の委員に「民生委員・児童委員のやりがい」を聞いてみました。🌸

「膝が痛くてゴミ出しにも苦労するの」辛そうにしているAさんにゴミ出し支援事業『ふれあい収集』を紹介しました。「ありがとう、助かった」の声を頂き、人の役にたてた！嬉しい！と実感できた駆け出しの頃の話です。この初心が今でも私の活動の原動力となっています。

8年目 R

なんといっても一番のやりがいは、見守りで高齢者の方々の笑顔に会えることです。

最初はこちらが少し身を引いて接していましたが、民生委員になってから3年目をむかえた今は、お会いしていろいろなお話ができるのが楽しく、待ってくださっていると、やりがいを感ずみます。

3年目 ユッキー

普段は話づらそうな方も民生委員の信用なのか相談をして下さいます。地域ケアプラザにつなげたり少し話を伺ったりして、相手の方がホッとなさり納得され安心したような顔をして下さる時、これがやりがいかな……と、思います。

21年目 太田

愚直で不器用に立ち回る反面、楽観的な性格が曲がりなりに私が民生委員を3期全う出来た要因ではないのでしょうか。

今後も委員信条に則り、地域高齢者の見守り役に軸足を据え、社協の一員としての自覚を忘れず、行政の協力者としてつなぎ役に徹し、支援した人達に喜んで頂けるよう邁進致します。

8年目 小杉 孝雄

民生委員・児童委員
としての
“やりがい”

母親の笑顔が、子どもの幸せにつながると信じて親子の「ひろば」を20年間続けてきました。最近、発足時に来ていた子どもの成人と就職の連絡が来ました。赤ちゃんから園児となり、学校に通うようになった子どもの育ちを地域の中で見守り続けられる喜びを改めて感じました。近いうちに、親となって「ひろば」で笑顔が見られる日が来るのかもしれない。

23年目 S.T

「傾聴」「寄り添い」「つなげる」を基本に、目の前の相談者が「今、何を求めているのか」を見極めそれを共有し、幼かったお子様が、中学生、高校生へと成長していく姿を見守ってあげられることに、『やりがい』を感じます。

14年目 マロウ

「こんにちは！」の声にいつものようにニコニコと出迎えてくれます。「いらっしゃい、元気ですよ。」と笑顔で返してくれます。

快く迎えて頂き民生委員・児童委員の役割を実感すると共にたいへんうれしく思います。

6年目 後藤

「こんにちは。民生委員です。」「お父さんが亡くなり、毎日が孤独で不安で悲しくて。でもこうやって見守って下さる方がいるので本当に心強いわ。」民生委員冥利に尽きる有難いお言葉を頂き乍ら訪問を楽しんでいます。「民生委員になって良かった。」

4年目 ひまわり

研修企画部会の活動

今年度は、2つの研修を企画致しました。1つは「仲間と学びあう」活動課題別研修もう1つは「全員研修」です。

「仲間と学びあう」活動課題別研修

6月30日(土)、10月23日(火)

私たちが活動する中で、課題となった事柄を中心に意見交換をし、少しでも解決に結びつけるような事例があればそれを皆で共有していこうと、高齢者をテーマに、委員全員参加のグループワークを行うこととしました。

新任の委員も話しやすいよう、少人数でグループをつくり、「ひとり暮らしの方」「認知症対応」「高齢者のみの世帯」「緊急時対応」など、たくさんの悩みや感想が出てきました。少しご紹介したいと思います。

〈悩み事〉

- ・耳の聞こえのよくない方を訪問したときの対応
- ・ひとり暮らし高齢者の、特に男性を地域事業に参加してもらうには

- ・徘徊の問題
- ・災害時の対応

〈感想〉

- ・他地区のことが聞けてよかった。
- ・対応に迷いがあったが、参考意見があり、うれしい。
- ・委員としての愚痴を聞いてもらって軽くなった。
- ・ベテランも中堅も新任と同じように悩みはあるんだ、と感じた。

多くの委員の生の声を聞くことが出来、委員皆さんから良い評価をいただいた研修だったと思います。

「全員研修会」 3月2日(土)

今年度は、金沢区制70周年の節目の年にあたることから、区役所及び区社会福祉協議会で実施する『福祉保健のつどい』を合同で開催することとし、この第二部講演の部を全員研修にすることとしました。民生委員・児童委員のみならず、区民の方々にも多く参加していただきたいとの思いから、講演の部の内容を区役所、区社会福祉協議会と一緒に検討しました。候補に上がった中から、部会の中で話し合いの結果、希望の多かった、小柳 拓人氏・真由美氏親子に決まりました。自閉症という障害のある難しい子育て経験談と自閉症ミュージシャン(ピアノ・フルート) 拓人氏の演奏です。

新しい公会堂でたくさんの区民の皆さんと一緒に楽しみたいと思います。



主任児童委員の活動

「養育者の健康づくりへの啓発～地域の中で伝えられること～」 *金沢区の研修*



6月の主任児童委員連絡会において、区役所の保健師による研修を行いました。金沢区の健康事情の特徴として、特定健診受診率が22%(H28国保加入者)と低く、乳がん無料クーポン利用率も市内で一番低いことが分かりました。今後の課題としては、特定健診の受診率をUPさせることが大事であると言えます。そこで、地域として若い世代と直接話の出来る主任児童委員の役割は大きく、広く伝えてもらいたいとの要望も頂き、啓発活動をしていくことが求められていると痛感致しました。

「子どもたちの今を知る～地域における主任児童委員の役割とは～」 *横浜市の研修*



1986年から若者の居場所、フリースペース「たまり場」を運営する西野氏の講演を聞きました。

かつてのおおらかな子育て環境とは異なり、今は核家族の中、怪我や失敗をさせない“正しさ”を優先した子育てが中心。一方7人に1人が貧困状態にあり、自ら命を絶つ子どもは年間357人(2018.3厚労省発表)。自己肯定感が低いと言われている日本の子どもとその親をどう支えていくのか。大切なことは、食・住など基本的な暮らしを取り戻す事、「問題行動」の背景に思いを巡らせ、先入観を捨て多様な「ものさし」で子どもの話に耳を傾けるなど、重いテーマながらユーモアを交えたお話は示唆に富み、支援者にとって勇気をもらえた貴重な時間となりました。

「かなざわっこ中学生ボランティア」の活動

今年も主任児童委員の呼びかけに応じてくれた中学生54人によって、「金沢まつりいきいきフェスタ ぼたんちゃんエリア」は活気に包まれました。人間関係が希薄になっていると言われていたようですが、ボランティアに参加する中学生は一味違います。研修を経て、小さな子どもたちにどんなことをしてあげられるのかを考え実行しました。この経験は、共感力を高め、思いやりの心を育てる良い機会になったのではないのでしょうか。活動によって得られた収益金51,580円は、日本赤十字社を通して西日本豪雨被災地支援の為に寄付されました。次世代の担い手は、地域に温かく見守られて健やかに育っています。



富岡第一地区

「ラスール金沢文庫」を訪問して

8月28日特別養護老人ホーム「ラスール金沢文庫」を訪問しました。ここは金沢文庫駅に近く、開設2年の新しい施設です。「自ら受けたいと思う医療と福祉の創造」を理念に掲げ、入居者にもスタッフにも優しいホーム作りを心掛けているそうです。充実した設備機器やコンシェルジュのいるお洒落なホームは、具体的な料金表の提示もあり、とても分かりやすい説明をしてくれました。

高齢化社会に入り待機入居希望者が増える一方の今、こういった施設の情報には民生委員活動に重要です。



富岡第三地区

もしもに備えた救命救急講座

8月20日富岡消防出張所で「救命救急講座」を受講しました。心肺停止の人に、救命処置の手順にそって胸骨圧迫とAEDによる電気ショックを繰り返す、という訓練でした。民生委員として突発的な出来事に適切な対応ができるようにと企画した講習でしたが、救命処置の重要性を再認識し、真剣な講習会となりました。



この講習の様子は、119番通報の手順、AED設置場所などの記事とともに広報誌「富三地区だより」に掲載され、地域の皆様に届けられました。

富岡第二地区

童謡の会「ゆりかご」

富岡第二地区では、民生委員と友愛活動推進員の方々と共に毎月第2火曜日に、金沢区の「街の先生」光岡佐輝子先生にご指導を頂き童謡の会を開催しています。童謡や昭和の歌謡曲、ミュージカルの曲など様々なジャンルの曲を楽しく歌います。毎回、25名前後の地域の方々が集まります。練習の合間に、先生は曲の由来や季節にちなんだ楽しいお話をして下さいます。歌っているうちに自然と背筋も伸び、



笑顔もあふれます。参加する皆様が楽しい時を過ごして下さる姿に、主催する私達も毎回たくさんの元気を頂いています。



富岡西・能見台地区

特別養護老人ホーム「新とみ」見学研修



東京中央区にある介護ロボットを活用している施設で研修をしました。施設職員が装着する介護ロボット、睡眠中のモニター機能付きロボット、コミュニケーションロボットなどがありました。介助者の負担軽減だけでなく利用者の安全や快適性にもロボットが役立っていることがわかりました。さらに装着型歩行訓練器やゲーム感覚でリハビリができる機器を体験し有意義な研修となりました。これらの体験を民生委員活動に生かしていきたいと思えます。



広告

能見台地区

みんなで見守ろう「ふれあいサロン」



この日は「防犯講演会」。急な雨にもかかわらずサロンを楽しみにしている人たちが集まりました。

阪神淡路大震災をきっかけに能見台3丁目町内会では“顔を合わせることが大事！”ということで福祉部と民生委員で「ふれあい安心会」を立ち上げ、8月を除き毎月サロンを開催しています。内容は、落語、演奏会、食事会、医療講演会、朗読会など様々なジャンルを企画しています。“出来る人がやる”をモットーにスタッフも楽しく、地域を一緒に見守っています。

金沢シーサイドタウン地区

フリマは売るのも買うのも楽しい！

連合自治会の行事では、私たち民生委員・児童委員が年に2回フリーマーケットの担当をします。いずれも長浜公園の多目的広場の横の広い通路で、前日準備から当日受付と後片付けまで。とくに4月29日のつつじまつりでは、たくさんのお店者と買い物客が行き来します。

私たちも、毎回駄菓子屋を出店します。地域の親子とのやりとりも楽しいです。昔の少年少女たちも寄ってきます。久しぶりにお会いする地域の方との交流も楽しみです。



金沢東部地区

自分らしく最期を迎えるには

今、総人口の約28%が高齢者の時代です。

私達の地域は8つの自治会、町内会から構成され、その全地区で「終活支援」を行っています。

高齢者が抱く様々な不安は多く、身寄りが無い人、病気や介護など多岐にわたっています。

一人ひとりが元気なうちに、自分らしい終活(介護、医療、終末期)の事を考え準備することが大切です。

葬儀やお墓、お寺のこと、相続や遺言、遺品整理など、高齢者の身近な問題や様々な相談を地域の人々と民生委員が一緒になって支援活動を進めています。



金沢中部地区

「認知症サポーター養成講座」を受講して

地区月例会の中で、「かなざわささえ隊」の山中和子さんを講師に招き、認知症サポーター養成講座を開きました。

9、10月と2回行い、テキストによる講義の他に泥亀地域ケアプラザの職員の寸劇もあり、大変分かりやすかったです。

認知症を正しく理解したことで、その家族も温かく見守っていきたいと強く感じました。



オレンジリング
(認知症サポーターの目印)

認知症になっても安心して暮らせる町にする事を目指し、認知症サポーターの輪を広げていこうと思えました。

広告

金沢南部地区

「後見人制度」を学ぶ



高齢者世帯やひとり暮らしが増え、認知症等になった場合どのような支援が良いのか。各種契約締結をはじめ施設入所や財産の管理には「後見人」の必要が生じます。先般来の法改正を踏まえて、これらに対応するための勉強をしておこうということで、地元の行政書士に講演をお願いしました。現行制度の利用のしにくさを改善するため、「地域連携ネットワーク」構想の中に、我々民生委員にも参加を期待されていることも知りました。

金沢地区

「友だち作ろう」

「友だち作ろう」は、未就園児の養育者の友だちを作る目的で立ち上げたサロンで、20年ほど続いています。

月に2度ほど、月曜日の午前中に行っていて、季節ごとのイベントに加え、横浜市金沢さくら保育園の保育士に年2度出張して頂き、手遊びやリズム遊びも取り入れています。これからも、参加して“楽しい！”と思える場所を作っていきたいと思います。



六浦東地区

「高谷ふれあい会」

高谷地区では民生委員を中心に、昼間一人でいる人同士の助け合いを目的とした仲間づくり活動を、月一回町内会館で行っています。仲間の一人が講師



となり、こんにゃく作り、そば打ち、うどん作り、お好み焼き作りなどを行っています。また母の日には、母の思い出のおしゃべり会をと、楽しみも盛りだくさんです。「向こう三軒両隣」ご近所の顔見知りも増え、今年で6年目を迎えたこの地域活動は、地元にしっかりと定着してきています。



六浦地区

「レイディアントシティ4校会」

7月21日、「レイディアントシティ4校会」が行われました。ここの子ども達は主に4つの小中学校に分かれて通学しています。学校は違っても地域とつながって子育てしたいと、年に一度民生委員・主任児童委員・保護者の代表・自治会の代表による懇談会が開かれて10年になりました。今年のテーマは「子ども達の地域での過ごし方」。子ども達の遊び場について話し合いました。真剣に話し合う様子を見て、4校会が保護者の方々と地域の貴重な意見交換の場になっていることを嬉しく思いました。



広告

六浦西第一地区

障害者施設の見学から学んだこと

地元の銭湯「亀遊館」の隣にあるグループホーム「のぞみ」、白山道にある障害者支援施設「航」、能見台の金沢地域活動ホーム「りんごの森」を見学しました。施設では障害のある方が地域で自立しイキイキとした生活ができるよう支援しています。



私達も要援護者が自らの力で課題を解決し、自立に向けて取り組めるよう、相談内容に応じて、それに即した情報提供と必要な支援を行い、サービスの利用に繋がられるように支え、見守っていくことをあらためて学びました。

六浦西第二地区

筑波大学附属久里浜特別支援学校訪問



この学校は、3歳から12歳の知的障害を伴う自閉症のある幼児児童を対象とした先導的教育拠点です。

幼児部・小学部で計54名が在籍しており、教育の基本は「一人一人の良さや可能性を伸ばし、自立した社会参加するための基礎を培い、子供たちの可能性を最大限に伸ばすこと」。実現には安心・安全に日常生活が可能な環境を整えること。更に、継続的に関わり合いのできる地域づくり等、地域共生社会の在り方を学びましたので、障害児と関わる活動に生かしていきたいと思ひます。

六浦西第三地区

「はぐはぐ」で親子の輪をつなげます。

月に2回は「はぐはぐ」の日。主に未就学児の子育て中の方々の交流や子どもの遊び場として、主任児童委員が企画し、民生委員・児童委員も一緒に見守りをしています。

7月3日は七夕まつりが催され、折り紙で作った織姫や彦星、短冊に願い事を書いて飾りつけをしました。天井までとどく大きな笹が、色とりどりに飾られて、その周りで踊ったり、おしゃべりしたり、とても盛り上がりました。これからも、親子の輪をつなぐお手伝いができたらと思います。



釜利谷地区

「おしゃべりサロン」のやり甲斐

町内の老人会解散後の地域親睦のため、民生委員・児童委員主催によるサロンを立ち上げ、毎回の活動に悪戦苦闘しています。「街の先生」や警察の講演、バス旅行、子供会とのコラボ、作品作り等行なって来ましたが、参加者の一番の楽しみは「雑談」であり、私達も貴重な地域情報が得られ、お互いに有意義な交流の場になっているのです。



今後も活動定着に惜しみない努力をし、民生委員・児童委員として喜びや希望を持って継続させて参ります。

広告

共に生きる社会に

「ほじょ犬」をご存じですか



ほじょ犬（身体障害者補助犬）とは、目や耳や手足が不自由な人の自立や社会参加を助けるための犬です。



ほじょ犬マーク

身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです。

不特定多数の人が利用する施設（商業施設、公共施設等）では、補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）の受け入れが義務付けられています。



声かけ缶バッジ

（一社）盲導犬総合支援センター（横浜市都筑区）が企画・制作した「声かけ缶バッジ」は、視覚障害者が「声をかけて欲しい」という意思を周囲に伝えられるよう作られました。缶バッジを通してお手伝いの声かけが広まることを目指しています。

✿ 障害のある人をアシストする犬たちにスポットを当てました。この犬たちはそれぞれ役目を持ち、懸命にそれを果たしています。私たちは人にも犬にも配慮をしていきましょう。

金沢区制 70 周年記念講演会「福祉保健のつどい」を開催します！！

区制 70 周年を記念し、区役所と区社会福祉協議会との共催で、新しくなった公会堂で講演会を実施します。どなたでも参加できますので、是非お越し下さい。

- 日時：平成 31 年 3 月 2 日（土）13 時 30 分～16 時（開場 13 時～）
- 会場：金沢公会堂（金沢区泥亀 2-9-1 金沢区役所となり）
- 内容：第 1 部 金沢区社会福祉功労者表彰及び感謝式典
第 2 部 ピアノ演奏・基調講演
「誰もがいきいきと輝いてくらせるまち ～特異を得意にかえて～」
（講師・ピアノ演奏：小柳 拓人 氏、小柳 真由美 氏 親子）



全員協議会開催

5 月 14 日磯子公会堂で開催され、金沢区の全民生委員が事業計画や予算等を審議しました。更に金沢警察署の行谷智幸氏から「振り込め詐欺の現状」の講演を聞き、研修しました。

金沢まつりーいきいきフェスタ

10 月 20 日（土）海の公園で開催されました。今年は、好天に恵まれ、私たち民生委員・児童委員は例年どおり「コーヒーショップ」と「チャリティー縁日・子どもの遊び場」を出店し、活動 PR に取り組みました。会場では、民生委員制度創設 100 周年を振り返るパネルを展示し、ブースに寄った方々が熱心に見入っていました。



編集後記

今号には、皆様のお困り事に対して、民生委員・児童委員の役目である「うけとめてつなぐ」を分かりやすく掲載しました。併せて、委員の「やりがい」を載せています。皆様に頼られること、お困り事を解決に導けることにやりがいを感じているのですね。

〈編集委員〉

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 岡田須美子 | 齊藤 洋子 | 栗原 捷子 | 長尾 理香 | 岡田真理子 |
| 亀島由美子 | 神田 妙子 | 加藤 律子 | 岩田 幸子 | 黒田 矩敬 |
| 佐野 国弘 | 丸山 正樹 | 立松 成子 | 深津早百合 | 篠田 美香 |
| 後藤 和行 | 城戸 光男 | 水谷多美恵 | 山口 恵子 | 杉浦 千鶴 |



共同募金報告

10 月 1 日に民生委員が行った街頭募金活動は、台風の影響により、一部中止となりましたが、**総額 68,687 円**の募金が集まりました。皆様、ありがとうございました。

* この広報誌は、共同募金配分金から一部助成を受けて作成されています。